

「大学入試英語成績提供システム」参加試験実施主体における第三者評価・自己評価について

実施主体名	試験名	第三者評価			自己評価	
		評価機関	評価内容	評価結果の概要	第三者による参画の度合い	評価内容
Cambridge Assessment English (ケンブリッジ大学英語検定機構)	ケンブリッジ英語検定			<p>第三者評価機関による監査の結果は以下の通りです。</p> <p>1) 品質管理システムの国際規格であるISO9001の認証の取得を達成                  2) Ofqual(イングランド政府の教育・資格の質評価に関する監督機関)による監査結果に問題なし(あれば試験実施ができない)                  3) ALTEの監査で、ケンブリッジのレベル別試験については、ヤングラーナース対象のケンブリッジ英語検定を含む全てのケンブリッジ英語検定について、ALTEの基準をクリアしている品質を保証する「Qマーク」が付与されている。最近の監査は2018年に行われ全てクリアしQマーク付与。次回は2023年。</p>	総数22名、うち第三者1-2名	<p>当機関は次のような第三者評価機関による監査を受けています。</p> <p>1) 品質管理システムの国際規格であるISO9001の認証を取得しており、これを達成するため、内部監査と外部監査を実施、BSI(英国規格協会)より1年に2回監査を受けている                  2) ほぼ定期的実施されるOfqual(イングランド政府の教育・資格の質評価に関する監督機関)による監査                  3) ALTE(ヨーロッパ言語テスト協会)による5年に1度の監査                  ケンブリッジのレベル別試験については、Pre A1 -A2レベルのヤングラーナース対象のケンブリッジ英語検定を含む全てのケンブリッジ英語検定について、ALTEの基準をクリアしている品質を保証する「Q マーク」が付与されています。最近の監査は2018年に行われ全てクリア。</p>
IDP:IELTS Australia	International English Language Testing System(IELTS)	Ofqual (Office of Qualification and Examinations Regulation) ※イングランドの公式な政府の法定規制機関。特定の省庁に属さず議会に直接報告する。	<p>○試験の内容、実施体制及びテストの信頼性・妥当性等について厳密な第三者評価が行われている。                  ○試験対策教材、対策講座等についても、受験者にとって「unfair advantage(不公平な優位性)」を生じないように、それを回避するための手続きを有しているかどうかをチェックする。                  ○試験センターのセキュリティは抜き打ち視察を含む定期的な査察官によるチェックを受ける。                  ○違反があれば、試験実施団体の活動停止処分もあり得る。</p>	<p>「Ofqual (https://www.gov.uk/government/organizations/ofqual)」により、「試験の内容、実施体制及びテストの信頼性・妥当性等」について第三者評価が行われており、「認定」の評価結果が得られている</p>	<p>・年4回行われる監査のうち、必ず1回は外部機関からの監査官1名～2名によって行われる。                  ・試験の内容についての第三者機関による検証が行われているが明確な人数の提供は困難。</p>	<p>・外部研究者による信頼性・妥当性の研究に対して研究費の助成を行っている。                  ・IDP独自に加え、パートナー間で作成した試験実施規定(IELTSの規定を厳格化)の導入により安全性を担保している。                  ・対策例                  1)試験監督者、採点者の管理                  2)試験問題管理施設の厳格な規定                  3)試験問題移動・開封・破棄に関する記録と管理                  4)不正にかかわる世界的な調査プラットフォームの構築                  5)組織内での定期的な監査と指導                  6)利益誘導や漏えいに対する規定とトレーニング                  7)IDP本部のAudit TeamによるJSAF、北九州予備校の監査と指導</p>
ブリティッシュ・カウンシル	International English Language Testing System(IELTS)			<p>・下記リンクサイト(英国Ofqualサイト)にて、IELTSが英国の情報公開。                  ・Ofqualは、IELTSが英国政府が定める基準を満たす英語資格であることを証明しています。IELTSで証明される英語力は、英国内での資格認定のための枠組みに参照され、バンドスコアごとに下記の通り表記されインターネット上で情報が公開されています。                  https://register.ofqual.gov.uk/Search?category=Qualifications&amp;query=IELTS&amp;status=Available%20to%20learners</p>	<p>・年4回行われる監査のうち、必ず1回は外部機関からの監査官によって行われる。                  ・試験の内容についての第三者機関による検証はかなりの数が行われている。(明確な人数の提供が困難)</p>	<p>・外部研究者による信頼性・妥当性の研究に対して研究費の助成を行っている。                  ・ブリティッシュ・カウンシルが独自に作成した試験実施規定(IELTSの規定を厳格化)の導入により安全性を担保している。                  ・対策例                  1)試験監督者、採点者の管理                  2)試験問題管理施設の厳格な規定                  3)試験問題移動・開封・破棄に関する記録と管理                  4)不正にかかわる世界的な調査プラットフォームの構築                  5)組織内での定期的な監査と指導                  6)利益誘導や漏えいに対する規定とトレーニング                  7)ブリティッシュ・カウンシルIELTSグローバルチームによる英検テストセンターの監査と指導</p>

実施主体名	試験名	第三者評価			自己評価	
		評価機関	評価内容	評価結果の概要	第三者による参画の 度合い	評価内容
Educational Testing Service	TOEFL iBT®テスト	<p>ANSI-ASQ National Accreditation Board (ASQ: American Society for Quality) (ANSI: American National Standards Institute) International Accreditation Forum</p> <p>※ANSI National Accreditation Board: 米国適合性認定機関(ANAB) ANABは、北米最大の多分野に渡る認証機関で公的機関および民間機関に認証サービスを提供する非政府組織であり、米国国家規格協会(ANSI)によって所有されています。2018年12月にANSIがthe ANSI-ASQ National Accreditation Board, LLCの全利益を取得、ANSI National Accreditation Board (ANAB)となりました。ANSI-ASQ National Accreditation Board (米国適合性認定機関)とは、ISO9000、ISO14000等の規格審査登録機関で1989年にASQ(American Society for Quality: アメリカ品質協会)による認定機関として設立。1996年、ISO14000規格のリリース時にANSI(American National Standards Institute: 米国国家規格協会)との協力関係を結び、品質・環境マネジメントシステム等の認証業務を行ってきました。ANSIは、工業規格の標準化を行っている非営利団体で日本のJIS(日本工業規格)に相当し、国際標準化機構(International Organization for Standardization/ISO)、および米国国内委員会を介しての国際電気標準会議(the International Electrotechnical Commission/IEC)への公式な米国代表を務めています。</p> <p>※International Accreditation Forum: 国際認定フォーラム(IAF) IAFは、1993年に創設されたマネジメントシステム、製品、サービス、人員、および適合性評価などの適合性評価をおこなっている国際的な認定協会。</p>	<p>ETSでは、ANSI-ASQ National Accreditation Boardによってテストのクオリティーや実施などにおいて監査・認証を受けていることに加え、ETS作成プロダクトとサービスの品質・公平性の保持のために、内部監査システムも構築しています。ETSではAmerican Educational Research Association, American Psychological Association, National Council on Measurement in Educationの3団体が作成/出版したThe Standards for Educational and Psychological Testingに準拠した(ETSのニーズに応じて新項目を追加、あるいは削除し)ETS Standards for Quality and Fairnessを作成し、このETS Standardsに沿った形で内部で監査チーム(ETSスタッフや外部の人間で構成)を組織し、ETSの各プログラムに対して監査をおこなっています。(通常3年に1度)。監査の結果は、ETS Board or Trustees(評議会)は報告されます。また外部の人間が監査役となり、試験に関する見解や一般的な観点を提供しています。</p> <p>※ETS Standard for Quality and Fairness <a href="https://www.ets.org/s/about/pdf/standards.pdf">https://www.ets.org/s/about/pdf/standards.pdf</a></p> <p>■評価内容(項目) ETS本部のあるニュージャージー州(他2州含む)にある全事業所が提供するETSのテクノロジー、テスト、アセスメントサービス、および教育、政府、事業の各団体のインフラストラクチャーに関連した事業継続管理システムについて(PS-Prep ISO 22301:2012)およびETSが提供する教育サービス(テストデザイン、配信、クオリティー、公平さ)などの品質管理システム(ISO9001:2015)について認証を受けている。</p>	<p>ETS本部のあるニュージャージー州(他2州含む)にある全事業所が提供するETSのテクノロジー、テスト、アセスメントサービス、および教育、政府、事業の各団体のインフラストラクチャーに関連した事業継続管理システム(PS-Prep ISO 22301:2012)およびETSが提供する教育サービス(テストデザイン、配信、クオリティー、公平さ)などの品質管理システム(ISO9001:2015)に対する認証を取得している。これによりETSは強固な管理システムを備えていることが承認されている。</p> <p><a href="https://www.ets.org/s/about/pdf/ets_ps_prep_cert.pdf">https://www.ets.org/s/about/pdf/ets_ps_prep_cert.pdf</a></p> <p><a href="https://www.ets.org/s/about/pdf/ets_dekra_cert.pdf">https://www.ets.org/s/about/pdf/ets_dekra_cert.pdf</a></p>	<p>第三者を含む総数14名で実施</p>	<p>ETSでは、ETS作成プロダクトとサービスの品質・公平性の保持のために、内部監査システムを構築している。ETSではAmerican Educational Research Association, American Psychological Association, National Council on Measurement in Educationの3団体が作成/出版したThe Standards for Educational and Psychological Testingに準拠した(ETSのニーズに応じて新項目を追加、あるいは削除し)ETS Standards for Quality and Fairnessを作成し、このETS Standardsに沿った形で内部で監査チーム(ETSスタッフや外部の人間で構成)を組織し、ETSの各プログラムに対して監査をおこなっている。(通常3年に1度のペース)。監査の結果は、ETS Board or Trustees(評議会)に報告される。また外部の人間が監査役となり、試験に関する見解や一般的な観点を提供している。</p> <p>※ETS Standard for Quality and Fairness <a href="https://www.ets.org/s/about/pdf/standards.pdf">https://www.ets.org/s/about/pdf/standards.pdf</a></p>
株式会社ベネッセコーポレーション	GTEC	<p>第三者評価の受審を検討中</p>	—	—	<p>・問題内容に関しては、GTECと契約を結んだ、英語教育や英語テストに関する大学有識者複数名に審査・監修していただいております。また大学有識者とは別に、英語テスト専門の外部スタッフにも審査してもらっております。</p>	<p>・問題作成にあたり、審査会を設定し、外部有識者に下記の観点で確認してもらっている。 ①高校生の英語力を測るテストと内容が適しているか ②場面設定、使用されている英語は適切でオーセンティックか ③問題が成立しているか ④解釈に困らないイラストとなっているか ⑤出題レベルは適切か</p>

実施主体名	試験名	第三者評価			自己評価	
		評価機関	評価内容	評価結果の概要	第三者による参画の度合い	評価内容
公益財団法人 日本英語検定 協会	TEAP、TEAP CBT、英検	<p>特定非営利活動法人全国検定振興機構※による第三者評価を実施中。</p> <p>※当法人は、検定試験の質的向上及びその社会的通用性の向上に関する事業を行い、もって、我が国の教育の推進に貢献する。そのために、検定実施団体の運営に関する支援や検定試験の質的向上のための調査研究及び検定試験の普及促進を行い、教育機関、企業及びその他団体並びに個人に対して安心して受験できるように環境を整備し、その学習成果が適切に評価・活用される社会の実現に寄与することを目的とする。</p>	<p>○文部科学省後援の第三者評価</p> <p>■総括評価 ・検定の自己評価実施を前提として、当該自己評価の内容を複数の評価員により、書類で確認、訪問審査を行った上で、検定の実施組織、実施状況、問題の作成・管理、継続的学習支援・活用促進等検定全般に渡って評価がなされ、評価の結果合格すると第三者評価認証が与えられる。</p> <p>■会場運営評価 ・事前審査 会場運営についての自己評価を書類提出した上、評価員が審査をする。 ・実地審査 事前審査に合格した後、評価検定試験当日に実際の試験会場を監査員が抜き打ちで訪問して実地監査を行い、試験会場の運営状況を評価する。訪問する試験会場の数・地域は全会場から統計学的に算出する。評価の結果合格すると、第三者認証が与えられる。</p>	<p>・現在、実用英語技能検定にかかる総括評価を実施しているところであり、現時点において第三者評価の結果は受領していない。</p>	<p>検定試験提供の各プロセスにおける第三者の評価度合い ・問題作成・合否判定等については、英語教育やテスト理論に関する複数の専門家・有識者等 ・試験実施運営については、複数の試験実施業者等</p>	<p>・検定試験提供の各プロセスにおいて外部の第三者の評価を得るなどし、試験の品質維持・向上に努めている。</p> <p>・平成29年10月に文部科学省により取りまとめられた「検定事業者による自己評価・情報公開・第三者評価ガイドライン」に基づく観点で自己評価シートを作成している。</p>

※本資料については、各試験実施主体からの回答をもとに、文部科学省でとりまとめたものとなります。